



豊川市議会議員

二村たか子からのお知らせ

## まちの声

豊川市赤坂町紅里26 電話87-4453 FAX 87-3937

ホームページ <http://7jigen.com/futamura/>

## 放射性を帯びたガレキの広域処理は子供たちのことを考えて

匂いもしないし目にも見えない放射線は私たちの日常生活では理解が出来ないというのが本音でしょう。いまだに線量が高くて家に帰れないで避難生活をされている方が沢山います。その近くの県のガレキ処理を日本中に広げて安全でしょうか、世界の常識では放射線物質はたとえ低線量でも広げず1箇所に封じ込めるのが原則です。今までの日本の規則では、放射性濃度1kg当たり100ベクレル以上は黄色のドラム缶に入れて厳重管理するとしていました。

豊橋市、豊川市で原発事故後ゴミ処理場の焼却灰を調査した結果が公表されています。豊橋市では、去年7月26日セシウム合計161ベクレル、スラグから40ベクレルが出ました。豊川市は去年11月2日セシウム合計56ベクレルが検出されています。いずれも1キログラムあたりの数値ですが、ここに被災地のガレキを持ってきて燃やすことが果たして安全安心でしょうか？県の計画では、401万トンのうち愛知県で100万トンを受ける予定で、焼却灰も県下3箇所に埋める予定でいます。この地域では田原市の埋め立て処分場が予定されていますが、まだ何の依頼もされていないとのことです。県はすべてを決めてから市町によろしくということになり、議会で承認を得る段取りだと思えます。被災地の首長の3人が、ガレキ処理は長期の雇用も生まれ、地元の生活を支えることになるから現地で処理させてほしいと主張していますが聞き入れてもらえないと報道されています。

皆様はどう思われますか？

## 3月議会の主な内容

今までの施策に加えて「将来を担う子どもたちが希望を持てるまち」の実現に向けての予算総額1256億7千万円、一般会計は578億円です。

## 市の歳入の主なもの

( )内は去年との比較

|         |            |           |
|---------|------------|-----------|
| 個人市民税   | 94億7千万円    | (3.3億円増)  |
| 法人市民税   | 14億5千5百万円  | (1.77億円減) |
| 固定資産税   | 118億7千9百万円 | (5.8億円減)  |
| 国からの交付税 | 57億円       | (19.9億円増) |
| 国、県の支出金 | 100億円      | (10億円減)   |
| 繰入金     | 37億円       | (ほぼ同額)    |



## 市の借入と返済額

約40億円で昨年度に比べて1億円の増だが、返済額は昨年と同規模で72億円となっている。

今年も豊川市は新市民病院建設、給食センターの新築、消防署の南部に新設があり大型予算になっている。教育関係では校舎、屋内運動場、プールの改修などを積極的に行い建物の長寿命化に取り組んでいる。今後公共施設の老朽化対策と維持管理、開発ビルの課題解決が待ったなしになってくると考え、議員としてどのような仕事出来るか、真剣に取り組みます。

## 予算委員会での二村の主な質疑と答え

### 1、問 要保護児童対策の協議会事業費

18.2万円で何が出来る？

答 2月末までに122世帯285人の状況把握と管理に努めた。126人のうち児童相談所に対応を求めた深刻な事例3人56人は学校、保育園で安否確認34人は指導対応、33人は解決に至る。

問 課題は？

答 管理するケースの増加と質的にも難しくなっている月1回だけでなく個別の検討会が必要。

### 2、問 臨時保育士給料の増、前年比4806万円の内容は？

臨時保育士の待遇改善の質問をしたのでその確認の意味と、全国的に臨時保育士は免許を持ちながら、低賃金で働く意欲がなえる職場との課題がある。市でも半数がこの臨時の人達によって支えられていることを重く考えないとならない。

答 臨時保育士の時間給1155円から1190円に、パート保育士910円から930円 増の合計が1487万円。市内保育園で12クラス増分と延長保育利用者増による。

### 3、問 開発ビル、プリオにボランティア市民活動センターと生涯学習会館が開設したが共益費がそれぞれ1680万円と1065万円、全事業費当たり（人件費や指定管理料を含めたもの）44%。高額では

答 開発ビルの共益費が決まっています㎡当たり873円



八南児童館

このほか疑問が多く、又の機会に質問を考えています。



### 4、問 就学援助費 5110万円は正しい使われ方をしているか？指導は

答 年3回に分けて振り込んでいる。子どものための援助費用だと周知するしかない。給食費の未納は来年から新しい方法で清算する。

### 5、問 資源ごみの選別施設管理費 4000万円で売り払い収入 2600万円の効果は？

答 資源の分別を完結させる意義がある。

### 6、問 清掃工場の管理運営費が5億9800万円と昨年度より3100万円増の理由と、コークス価格の抑制は出来ないか

答 重油が600万円、コークスが1500万円、労務単価の引き上げ1日当たり700円増で1000万円。委託業務から切り離し、競争入札による調達も考えている。

### 7、問 ごみ焼却炉の定期点検整備費は2.8億円と高額、適正化への取り組みは。

答 メーカーの特許にかかるもので複数の見積もり合わせが出来ない。類似団体の情報で判断。工事の積算には社団法人全国都市清掃組合監修のものと、厚労省の労務単価を使用している。

### 8、問 清掃工場は毎年度高額な予算計上だが削減努力は？

答 1.設計は委託せず職員がする。2.補修 工事は可能な限り競争入札をしている。3.補修工事に必要な器材はプラントメーカーより安い場合は直接購入している。25%ほど安くなり22年度実績1450万 円の削減が出た。

## 二村 一般質問

### 水道事業計画の内容と課題、今後の取り組みについて



日本中で道路や橋が壊れていく、NHKスペシャルで見られた方も多いと思いますが、公共設備やインフラ整備されてから40年～50年になり始めて老朽化しています。改修や改築が必要になりましたが、どこも経済的に厳しく計画ができて実施財源に頭を抱えている様子が伺えました。

関西のある市では水道管の破裂に対応するために1500億円の経費が必要となりましたが、今までの水道事業で借りた借金が1600億円、この状況で配水管の更新をしなければならない。最近名古屋のと真ん中で歩道の陥没事件があり、掘って見たら水漏れで地下が空洞になっていた。皆さんも恐ろしいことだと感じられましたね。

豊川市も23年から公共性施設の適正管理研究会が動き出しましたが、市の水道課ではいち早く気づいた職員がいてくれたおかげで、すでに水道基本計画を策定し動き出しています。

#### 質問 1：市の水道管、浄水場、配水池の現状の課題は

答 昭和30年から50年に建てられたものが多く、管の延長は1205 km、73箇所の施設（配水池やポンプ場など）の老朽化への対応として55に統廃合する。設備の改修、更新が必要、自己水不足から県水を買う割合が増えること。

質問 2：73箇所の施設を自然流化方式にかえて削減するとはどのようなものか、老朽化への具体的対策とはどのようなものか、県水を増やさず自己水源の確保は考えないのか。

水道水のうち現在は県水を57%買っていて8.8億円、1%増えるごとに約3750万円かかる。計画終了時には70%ということだが料金値上げにつながるのでは



答 標高の高い音羽の中山配水池を整備して自然に流れる圧力で御油、為当地域まで送ると、いらなくなる設備の廃止で約2億円の経費削減が出来る。市内で一番重要な一宮浄水場（30%を配水）は3年間で、ろ過施設、中央監視制御システム、沈殿池、場内配管工事、など合計7・1億円を見込んでいます。昭和60年代に地下探査をして、為当、三谷原、大和水源を見つけて使ってきたが、塩水化が始まり、この地域では新しい水源は無理と思う。音羽川水系にも水源はあるが揚水量が低下傾向にある。

#### 質問 3：この計画終了後の効果はどのようなものか

答 現状維持と比較して、施設建設費、運転管理費などを合わせて約12億5千万円の経費縮減が計れる。

#### 質問 4：水道事業の経営面の現状と課題、大口利用者の動向は

答 長引く景気の低迷で使用水量の回復もなく、大口利用50社も1400万円の水道料金の減となり厳しい状況ではあるが、経営の効率化と、合併のメリットにより平成19年度以降毎年度1億数千万円の純利益を上げている。今後は建設改良費、減価償却費の増加と自己水が減り県水の購入費が増えることによる厳しい経営状況が予測されるので経営の効率化が課題。

#### 質問 5：大口利用者の使用量の減は自己井戸の掘削によるものかどうか、水不足の九州、四国のような水保全条例で規制はかけられないか

答 大口利用者の把握は困難、愛知県では名古屋、尾張地区には地盤沈下による規制がありますが東三河では出来ない。



**質問 6：有収率向上も大切と考える0・1%の水が地下に漏れてしまうことで100万円単位のお金がさよならすることになる、対策は**

答 平成19年から22年度で有収率は0・4%あがった。原因は管の老朽化と思われるので、6年間で管の調査と取替え600キロメートルを計画、既に200キロメートルは知識と経験のある市職員が実施した。今後も努めていく。

## ガレキについての数値

(岩手県・宮城県のカレキ400万トン中、愛知県は100万トンを受け入れる計画です。)

1.  
厚生労働省のホームページで公表されている岩手、宮城県のガレキの放射線の測定値の中に繊維1480ベクレル、プラスチック510ベクレル、繊維510ベクレル、繊維1330ベクレル、プラスチック660ベクレル、などがあります。国が安全とする240ベクレルまでしか広域には広げないとしていますが、240ベクレル以上の数値は29箇所も出てきます。

2.  
4月6日夕方NHKラジオで環境省の役人も交えたガレキ処理の依頼の放送を聴きました。その中で皆さんに依頼するガレキの濃度は100~1000ベクレルのもので安全ですと言った。ストーカ炉で燃やすと33・3倍に濃縮されるので33000ベクレルになります。安心とされる埋め立ての濃度8000ベクレルを超えてしまいます。

私は原発事故後に法律や規則を変えてまで早期に片付けようとする姿勢に信頼がもてないでいます。

3.  
日本原燃の公式サイトに次の文が公表されています。  
低レベル放射性廃棄物は焼いても放射性物質はなくなる。  
むしろ煙となって共に放射性物質となって二次被害が出るので  
焼かずに埋めるとあります。



ガレキ処理の勉強会(田原市)

4.  
400万トンのガレキを10トントラックで運ぶと40万回の積み出しが必要になります。40万回の放射能測定を誰がするのでしょうか。現場は2県の各市町に分散しています。

5.  
なぜ、ガレキの処理計画が発表されないのでしょうか。いつ・どこで・誰が・どのように・何万トン処理します。でもできないので地方で処理をお願いしますということがいえないのか？ 子供でもわかる簡単なことが解らないまま進められています。

### 世界の常識と今までの(特例法ができる前までの)日本の規則

- ① 放射性物質は出来るだけ1箇所に封じ込め、広げない。
- ②セシウム濃度100ベクレル(1キログラム当り)以上の放射性物質は厳重に保管。

ご意見をお寄せ下さい。市政に関することなど、皆さんの声も掲載したいと思います。

電話 87-4453 FAX 87-3937 まで

#### 後援会ご入会の案内

「二村たか子を囲む会」は地域の情報交換や市政への提言、夢のあるまちづくりなど自由闊達に話し合う会合を奇数月の第2月曜日に開催しています。

ご参加をお待ちしています。下記にご連絡ください。

ご入会の連絡先 豊川市赤坂町紅里26 電話 87-4453 FAX 87-3937



## 放射性を帯びたガレキの広域処理に反対です

皆さんは病院でX線検査を受ける時どうしていますか？思い出してください。相手は人情や思いやりで戦う相手ではなく、匂いもしないし目にも見えない放射線です。

今の豊川市の焼却場は鉛や分厚いコンクリート作りではなく燃やせば、又、空気中にセシウムがでかねません。豊橋市、豊川市で原発事故後ゴミ処理場の焼却灰を調査した結果が公表されています。

豊橋市では、去年7月26日セシウム合計161ベクレル、スラグから40ベクレルが出ました。

豊川市は去年11月2日セシウム合計56ベクレルが検出されています。いずれも1キログラムあたりの数値ですが、今まで国の決まりではセシウム濃度100ベクレルを超えるものは嚴重管理とされていたことです。

ここに被災地のガレキを持ってきて燃やすことが果たして安全安心でしょうか？県の計画では焼却灰も県下3箇所に埋める予定でいます。この地域では田原市の埋め立て処分場が予定されていますが、まだ何の依頼もされていないとのことです。県はすべてを決めてから市町によろしくということになり、議会で承認を得る段取りだと思います。被災地の首長の3人が、ガレキ処理は長期の雇用も生まれ、地元の生活を支えることになるから現地で処理させてほしいと主張していますが聞き入れてもらえないと報道されています。

世界の常識と今までの（特例法ができる前までの）日本の規則

- ① 放射性物質は出来るだけ1箇所に封じ込め、広げない。
- ②セシウム濃度100ベクレル(1キログラム当り)以上の放射性物質は嚴重に保管。

東日本大震災から1年が経過し、復興が遅いのではないかと多くの声が多く聞かれます。今回の大災害は地震、津波による甚大な被害の上に、さらに日本が経験したことのない原子力発電所の爆発で放射線が東日本の広い地域に拡散することにより、復興への道筋が複雑になり、被災地の皆さんの困窮を長引かせています。

阪神淡路大震災と比較するべきではなく、戦後復興と同じように考えないといけないのではないかと被災地以外は元気で、しっかりと働き、税金を払うことで、東日本を支えたいと願います。国はガレキ処理のために6300億円のお金を用意しました。このお金で現地に放射性廃棄物も燃やせる焼却炉と処分場を作り、少し時間がかかっても世界の常識に合った対応をする日本を見てほしいと願います。最後のページに広域処理されるガレキについての環境省の公表した数字などについてまとめます。